

樟彩

～ 岩田学園だより 2023年10月号 ～



目次	P
校長メッセージ	1
英語レシテーションコンテスト	2
APU前期プレゼン大会	2
第41回学園祭	3
部活動試合結果等	7
野球連盟功労者表彰	12
中高一貫校開設40周年記念式典	12

**“Your efforts now are a gift to your future self,
今の努力は未来への贈りもの**

校長 児玉 洋司

今年度は、4年ぶりに体育大会、学園祭など大きな学校行事を予定通りに実施することができました。高校2年生を中心とした実行委員の熱意、全校生徒の創意工夫、ご家族のご理解とご協力により、両行事が成功裏に終えたことを心より嬉しく思います。長い間、制約や不自由な状況が続いてきましたが、この両行事は新たな始まりの象徴となることでしょう。

第41回学園祭テーマは“Yes I am～主人公は君だ～”でした。このテーマは、『学園祭を築くのは自分』という素晴らしい思いが込められています。学園祭は、生徒の創造力と才能を発揮する素晴らしい機会です。様々なイベントに参加することで、各人の個性が光り輝きます。また、同時に学園祭は交流の場でもあります。友人や先輩、後輩、家族、そして教職員と共に、笑顔や感動を分かち合う時間です。

4日間という他校にない規模の学園祭は、生徒の力と意欲によって築かれ、新たな出会いを楽しんだり、絆を深めることができました。

困難な時期を乗り越え、学園祭を実現することは決して容易ではありませんが、困難を乗り越えることで得られる喜びや充実感は計り知れません。必ずや『今の努力が未来の自分への贈り物』になることでしょう。高校2年生を中心としたワンチームとなった感動の学園祭でした。

一方、高校3年生は大学受験に向けて、長い2学期を全力で取り組んでいます。大学入試や到達度試験の可否は、才能より努力を継続する習慣を身につけられるかに左右されます。その上で、思うような結果が出ないときは精神的な反省より技術的な反省を重視すると良いでしょう。

Don't look back on bad results.

Just review your technique.

大学入試は通過点です。さあ、その先に想いを馳せられるように深呼吸してみましょう。

さて、先般10月8日にレンブラントホテル大分にて、学校法人岩田学園の中高一貫校開設40周年の記念式典ならびに祝賀会を開催しました。この特別な日に、私たちは学校の歴史と成果を称えました。皆様のご理解とお力添えがなければ、ここまでの成果を収めることはできませんでした。お一人おひとりのご支援とご尽力に心より感謝いたします。

式典では、大分県私学協会理事長の小山康直様、東京都立大学法学部長教授の谷口功一様より祝辞ならびに講演を賜りました。そして、岩田学園同窓会『樟友会』より、卒業生を代表して野村威雄会長より多大な寄付金を賜りました。

この40周年を節目に、岩田学園は過去の栄光に感謝し、さらなる飛躍をめざす覚悟を新たにしています。私たちの目標は、全ての生徒が、自己の能力を最大限に発揮し、社会に貢献できるような教育環境を提供することです。この目標に向けて、教育プログラムの充実や施設の拡充、熱意と意欲にあふれた職場環境の構築に力を注ぎます。

また、卒業生との絆を深め、学園の発展を継続するために、同窓会や保護者会との連携を一層強化していく所存です。岩田中学校高等学校は、皆様のおかげで40年間にわたり発展し続けることができました。これからも子どもたちの未来をひらくために邁進してまいります。引き続きのご支援とご協力をお願い申し上げます。



学園祭パンフレットより

英語レシテーションコンテスト

英語科主任 坂井 学人

9/16(土)に、大講義室において英語レシテーションコンテストが開催されました。当初は7月半ばに実施する予定でしたが、期末考査延期等もあり、十分な練習時間が確保できないということで、開催を2ヶ月延長しました。学園祭準備と重なり、慌ただしい中でのコンテストでしたが、生徒はこの日に向けて練習を重ね、正確な発音のみならず、ジェスチャーや表情を使い、体全体で登場人物の感情を表現したりと、完成度の高い素晴らしい発表ばかりでした。大人数での前での発表は緊張の高まりもあいまって、セリフが飛んだり、声が震えたりという場面もありましたが、そういった経験もまた今後につながっていくことだと思います。

以下、受賞者。

<中学の部>

- 1位 2-1 原 亮慶 「The Gettysburg Address」
- 2位 3-2 菊池智瑛 「Thank you, Kaka Murad」
- 3位 3-2 牧野七菜 「Alice in Wonderland: A Tea Party」
- 4位 3-2 白石うた乃 「Blue Moon Valley」
- 5位 3-2 吉岩琉生 「A Present for You」
- 6位 3-1 坂井壮史 「Alice in Wonderland」

<高校の部 (同率4位)>

- 1位 5-4 薬真寺 空 「The Story of the Three Little Pigs」
- 2位 5-4 横山幸正 「One Book Can Empower a Child」
- 3位 5-4 Jensen Vita 「If— by Rudyard Kipling」
- 4位 5-4 向井悠貴 「Lost in Translation」



中学の部

- 4位 5-4 矢野乃梨佳 「The Ants and the Grasshopper」
- 6位 5-4 佐藤未乙 「The Last Speech from “The Great Dictator”」

以下、受賞者の喜びのコメント。

「今回のようなレシテーションなどの発表をすることは初めてだったので、とても緊張しましたが、今まで練習してきたことを言えて、自分の中でも一番の発表ができたと思います。発表しているときは、発音だったり、暗記などでとても緊張しましたが、きちんと言い切れて終わったときは達成感がありました。まさか賞がもらえるとは思っていませんでしたが、1位になることができたので、これからも英語の学習をがんばっていきます」

(2-1原 亮慶くん)

「今回のレシテーションコンテストでは、中学の部、高校の部、どちらともすばらしいスピーチだったと感じました。これからも、英語力やグローバルな考え方を高められるよう、勉強などに励んでいきたいです」(5-4薬真寺 空さん)

<デイビッド先生コメント>

On September 16th, we had our 12th annual recitation contest. 13 students from grades 2 and 3 of jr. high school participated as well as 17 students from high school. This year we had to re-schedule because of corona virus and there was not a lot of time to practice. However, all students did a good job and helped the event run smoothly. Congratulations to all the winners. お疲れ様でした!



高校の部

前期プレゼン大会 ~APUコース~

APU講座担当 川元 威彦

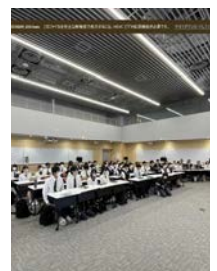
7月19日(水)にAPU新校舎のJ棟教室にて、4-4および5-4の前期プレゼン発表が行われました。まずは午前高2の4班が、午後高1の5班がそれぞれ発表し、児玉校長先生とAPUの佐脇教授から講評をいただきました。講座IとIIで扱うテーマは異なりますが、設定されたテーマに基づいて4月から各グループで試行錯誤しながらコツコツと準備を進め、今回の発表に臨みました。発表本番ではとても緊張した面持ちでしたが、今回の経験を活かして後期プレゼンではよりレベルアップした発表を披露してくれることを期待しています。そして5-4のプレゼン発表で最優秀賞を受賞したグループCには、9月の学園祭で全校生徒の前で発表してもらいました。また、アドバイザーを務めたAPUの学生Teaching Assistantの方々には、技術的なアドバイスだけでなく、進路やキャリア相談にもものっていただく場面もありました。ありがとうございました。

高2

- グループ A 「少子化を解決するには ~ASK~」
- グループ B 「次世代都市内農業 ~NGMA~」
- グループ C 「OIC ~食べられるんです~」
- グループ D 「Re:教室から始めるSDGs ~ゴミで作る学校用品~」
- 最優秀賞 グループC(河野・佐々木・佐藤・塩月)
- 優秀賞 グループB(奥村・向井・矢野・横山)

高1

- グループ A 「タイを守り隊」
- グループ B 「めざせ! マレーシアマスター! ~SDGs問題に立ち向かえ~」
- グループ C 「フィンDGsのすゝめ」
- グループ D 「飛んでウガンダ ~教育貧困~」
- グループ E 「ツバル」
- 最優秀賞 グループA(稲石・古賀・高橋明・都甲航・丸尾)
- 優秀賞 グループE(荒木・梅木志・佐藤未・高橋莉・松原・向井)



第41回学園祭について

特活担当 川元 威彦

学園祭結果

総合成績

- 1位：4-3
- 2位：4-2
- 3位：4-1
- 4位：1-1
- 5位：4-4
- 6位：3-2

文芸発表

- 1位：3-1
- 2位：4-3
- 3位：4-1
- 3位：4-2

クラス展示

- 1位：1-1
- 2位：4-4
- 3位：3-2

9月21日(木)～24日(日)の4日間、第41回学園祭が行われました。ここ数年の学園祭は、コロナ感染症対策のために様々な制限のもとで開催されてきましたが、今回はコロナ前の学園祭にほぼ戻ることができました。今年の学園祭テーマは「Yes I am～主人公は君だ～」で、生徒会長の小野君が「主人公である一人一人が互いを尊重し合い、自らの手で自分の人生を創っていきます。今回の学園祭テーマは、個性と協調性を重んじて欲しい」という思いを込めて選びました。テーマ曲はONE OK ROCKの『Yes, I am』で、この歌詞の中の「何のために産声をあげる？ この世界にきつと何かを訴えるため」という部分は、まさに今回の学園祭を象徴する歌詞になったのではないのでしょうか。

今回の学園祭が久々にコロナ前のスタイルで開催できる見込みがたったことで、生徒会執行部がこれまでのどの学年もやることがない新たな企画に挑戦しました。それが「花火の打ち上げ」です。花火は、みんなで同じ空を見上げて同じ景色を見ることで、その場にいた生徒・職員・保護者が一体となれる感動があるのではないかと執行部は考え、高2と高3しか経験していないコロナ前に行われていた学園祭の楽しさを後輩たちにも体験してほしい、受験に挑んでいる高校三年生に頑張ってもらいたい、そしてこの第41回学園祭がずっとみんなの記憶に残るものになってほしい、というたくさんの想いを込めて実現に向けた準備を進めてきました。そして執行部が学校や業者と交渉・相談を何度も重ねながら、学園祭前日の9月20日夕刻に岩田学園史上初となる、学校での花火の打ち上げをついに実現することができました。

こうしてこれまでにない形でスタートした今回の学園祭は、1日目にオープニングセレモニーが行われると、書道部・探究部による部活動発表、クイズ、そして久々の開催となった新入生対象の茶席などが行われました。学園祭2日目は、岩田プロジェクト、岩田チャンネル、模擬店、そしてこれも久々となるバザーなどが開催され、ケバブやクレープの店舗販売もあり、大盛況となりました。3日目の午後からはホールホールに会場を移し、芸能祭が2日間

たって行われ、文芸発表、個人発表、レシテーション、プレゼン発表、岩田生の主張に続いて、最後に高2演劇『歯車のよう』が上演され、第41回学園祭が閉会しました。

歴代の先輩から受け継いできた岩田学園が誇る学園祭が、全校生徒がそれぞれの立場で一生懸命に行動することで作り上げられていることを再確認することができました。今回の学園祭がより多くの人々の記憶に残るものとなったことを願いつつ、次の38回生がより記憶に残る素晴らしい学園祭を作り上げてくれることを期待しています。最後になりましたが、準備の段階から本番・片付けに至るまで保護者の方々には様々な面で大変お世話になりました。心より感謝いたします。ありがとうございました。



クラス展示
第1位 1年1組



クラス展示
第2位 4年4組



クラス展示
第3位 3年2組

5年 学年展示



全校作成



文芸発表

第1位 3年1組



文芸発表

第2位 4年3組



文芸発表

第3位 4年1組・4年2組



第41回学園祭アルバム

第1日 9/21・木 開会式・ホプニング、部活動発表（書道部・探究部）、クイズイベント、展示公開、茶席など



第2日 9/22・金 岩田PROJECT, 岩田CHANNEL, 模擬店など



7月～10月の部活動等結果報告

高山辰雄展

推奨 津村明希

佳作 足立桔梗

小野楓枝

此本茉央

将棋部

8/3(木), 4(金)

第47回全国高等学校総合文化祭

第59回全国高等学校将棋選手権大会

上杉凌大

予選

第1回戦 ×

第2回戦 ○

第3回戦 ×

第4回戦 ×

どの試合も格上相手に途中までは互角に対峙するものの、秒読みに入ってからはやはり力の差があらわれました。貴重な経験ができ、とても勉強になったようです。多くのご支援、ありがとうございました。

(顧問：上杉和生)

8月20日(日)

第6回大分県中学生将棋名人戦

B級

阿南充紀 5敗

C級

玉井愛大 3勝2敗

上杉咲希 3勝2敗

衛藤優花 4勝1敗

夏休みで実力考査前ということもあり、練習不足ではありましたが健闘していました。入賞を目指して、今後も努力を続けてほしいと思います。(顧問：上杉和生)

ギター部

8月19日(土) 山口ギターコンクール

●初級の部

銀賞：工藤英(4年4組)

銅賞：川野彪雅(2年2組)

川野友梨子(1年1組)

●アンサンブルの部

銀賞：衛藤真子(5年2組)

小山田りか(5年3組)

●中級の部

銅賞：小山田りか

1学期末の休校や台風による直前の本番が延期になるなど例年に比べかなり調整不足の中のコンクールでしたが、高校2年生は出場した部門すべてで入賞する活躍を見せてくれました。また新入部員も数名入賞す

ることができ、日頃の練習の成果を発揮することができました。コロナ禍での日帰り参加ではなかなか鑑賞できなかったグランプリ部門も今年度は鑑賞することができ、刺激も多く受けることができたと思います。コンクールを通しての成果や課題を定期演奏会や来年のコンクールにも活かして行ってほしいです。保護者の皆様におかれましては、早朝の送迎や会場での応援、差し入れ等サポートありがとうございました。(顧問：八木真也)

陸上部

7/27(水) 中体連県総体

1年男子1500m

矢野功一郎 4分47秒71 **第3位**

期末考査の延期、前日は夏季合宿という中で、練習と学習をしっかりと両立させ大会にのぞめました。その成果が最後の競り合いの中で走り抜けられる原動力にもなっていました。結果、県第3位！ 前回は上回る結果です。目標は次の新人戦に向かっています。さらなる飛躍を願っています。

(顧問：土居克己)

10/7(土) 8(日)

第49回大分県中学校新人陸上競技大会

8日

1年男子1500m

矢野功一郎 4分45秒50 **第3位**

9日

共通男子3000m

矢野功一郎 10分12秒91

8日の1年男子1500mでは前回の中体連県総体の記録から順調に伸ばし県第3位！という見事な成績でした。本人はまだまだ記録を伸ばす意欲にあふれており、ますますの活躍を期待します！

9日の共通男子3000mでは、初出場にもかかわらず、最後の最後まで前走の者を追いぬこうとする気迫にあふれる走りを見せてくれました。これから出場を重ねていくことでより大きな飛躍が感じられる力走でした。(顧問：土居克己)

9月3日(日)

レゾナックドーム大分で2023年度 第1回秋季陸上競技大会兼第38回大分県私学陸上競技大会が行われました。残念ながら自己ベストとはならなかったのですが、またすぐにある新人大会に向けてがんばらせたいと思います。とても暑い中、応援や送迎等感謝致します。

【結果】

5-1-16 豊島悠佑(100m) 13秒56

5-3-4 奥平篤史(100m) 13秒27

4-2-13 山崎志歩(100m) 16秒49

(顧問：金山順宣)

9月17日(日)レゾナックドーム大分で令和5年度大分県高等学校新人陸上競技大会がおこなわれました。

高校2年生は最後の大会でしたが、課題のスタートも良く、本人も満足できるレースができました。

高校1年生は来年に向けてよりいっそうの練習をしていきます。

暑い中、送迎やスタンドでの応援、ありがとうございました。

【結果】

5-1-16 豊島悠佑(100m) 13秒36

4-2-4 衛藤羽奈(400m) 1分22秒09

4-2-13 山崎志歩(100m) 16秒11

(顧問：土居克己)

中学テニス部

7/25(火)

令和5年度大分県中学校総合体育大会

テニス競技 個人戦シングルス

3-3-1 安部貴史

1回戦 6-0 中川(大分西)

2回戦 0-6 水野(別府中部) ベスト32

暑さの厳しい中での試合となりましたが、1回戦は丁寧にゲームを組み立てることができ、2回戦では第2シードと対戦。スピードと精度に苦しみ何柄も随所に自分らしいプレーを展開する場面もありましたが、ベスト32で敗退となりました。本人にとって久々の大会で緊張していたようでしたが、この市総体から県総体での試合で得たものも多かったと思います。これからは高校生との練習の中でより自信を深めていってほしいと思います。暑い中での保護者の送迎や応援でのサポート、ありがとうございました。(顧問：川元威彦)

高校男子テニス部

8/19(土)

第15回秋季高等学校シングルス選手権

大分支部予選

1回戦敗退 岡田, 上田

パート決勝敗退 高

本戦進出 小野, 雨宮, 二ノ宮雅,

二ノ宮慶

朝から厳しい暑さの中、初めて公式戦に出場した部員、公式戦初勝利を挙げた部員、久々の公式戦となった部員など、それぞれがこの夏の練習で頑張ってきた成果が結果となりはじめてきました。男女同会場になったこともあり、お互いのコートに行っ

7月～10月の部活動等結果報告(その2)

した4人は9/2に行われる本戦に向けて再調整し、より高いレベルをを目指して頑張りたいと思います。また、保護者の送迎や応援でのサポート、いつもありがとうございます。(顧問：川元威彦)

第38回 大分県私立高等学校体育大会
テニス競技 男子 8月29, 30日
団体戦 1回戦 岩田 2-0 別府溝部学園
2回戦 岩田 0-2 福德学院

(3位表彰)

個人戦
高校1年シングルス
1回戦
上田(3-6), 岡田(1-6), 小野(6-0)
2回戦
小野(6-4)
3回戦
小野(1-6) ベスト8進出

高校2年シングルス
1回戦
二ノ宮慶(6-2), 二ノ宮雅(6-1), 高(6-3)
2回戦
二ノ宮慶(6-5), 二ノ宮雅(4-6), 高(4-6)
3回戦
二ノ宮慶(1-6) ベスト8進出

高校1年ダブルス
1回戦小野・岡田(6-4),
2回戦小野・岡田(0-6) ベスト8進出

高校2年ダブルス
1回戦
二ノ宮・二ノ宮(6-2), 雨宮・高(6-2)
2回戦
二ノ宮・二ノ宮(6-5), 雨宮・高(0-6)
3回戦
二ノ宮・二ノ宮(0-6) **(3位表彰)**

○男子団体戦3位, 個人戦高校2年男子ダブルス二ノ宮雅哉・二ノ宮慶吾ペア3位
初日は、朝から厳しい暑さの中での試合となりました。団体戦からスタートしメンバー全員が力を出し切り、1回戦突破をし2回戦では優勝した学校と対戦し粘りましたが、敗戦となりましたが、団体戦3位に入賞することができました。その後個人戦がスタートし、それぞれがベストを尽くして頑張りました。2日目は曇り空のもと、日差しは少なくなったものの、小雨が降ったりと、その中でダブルスの試合が始まりました。それぞれのペアが息のあったプレーで見せ場を作ることができました。高2の二ノ宮・二ノ宮ペアが見事3位入賞を勝ち取ることができました。今後も大会は続くのでそれぞれが課題を見つけ練習に励み頑張りたいと思います。暑い中、送迎や応援、差し入れをして頂き、保護者の方にはまことに感謝申し上げます。ありがとうございました。(顧問：山下光信)

9/2(土)
第15回秋季高等学校シングルス選手権
男子本戦
@佐伯市総合運動公園テニスコート
1回戦
小野 不戦勝 雄城台
雨宮 4-6 上野丘
二ノ宮慶 6-1 大分豊府
二ノ宮雅哉 6-0 中津南

2回戦
小野 0-6 大分鶴崎
二ノ宮慶吾 0-6 大分舞鶴
二ノ宮雅哉 0-6 大分舞鶴
※3人はベスト64

予選を突破した4人で、ベスト64となる2回戦進出を目標に挑戦しました。4人全員が冷静かつあきらめない強い気持ちで試合に臨み、それぞれベストを尽くした結果、3人が2回戦に進出することができました。2回戦はランキング上位選手との対戦となり、全力で挑みましたが力及ばず敗退となりました。試合の中で常にいろんなことを考え、我慢し、時に弱気になる自分とも戦う姿勢がみられました。この成長をとめることなく、さらなる成長を期待しています。そして佐伯まで送迎や応援していただいた保護者の方々のサポート、いつもありがとうございます。これからもどうぞよろしくお祈いします。(顧問：川元威彦)

令和5年度大分県高等学校
新人テニス競技大会
1回戦 岩田 1-4 大分東明
S1 二ノ宮雅哉 5-7
D1 雨宮&小野 1-6
S2 二ノ宮慶吾 2-6
D2 岡田&上田 1-6
S3 高 6-0

学校閉鎖などもあり、ほとんど練習ができない状況のもとでの試合となりましたが、これまでの経験や考える力などを駆使して試合に臨みました。厳しい試合展開になりましたが、男子部員7人全員が今の自分がコートでできることを精一杯出し尽くし、最後まで全力でプレーしてくれました。高2はこの大会で引退する人、もう少し延長して部活を続ける人など、ここからはそれぞれの決断のもとでの学校生活になりますが、どの決断をしたとしてもこれまでの部活動での経験をもとに、自分の夢に向かってより一層努力してくれることを期待しています。また、高1の新しい主将と副将も決まりましたので、新チームも先輩に負けないよう頑張りたいと思います。今回も選手の送迎や応援をしていただいた保護者の方々、いつもありがとうございます。これからもどうぞよろしくお祈いいたします。(顧問：川元威彦)

高校女子テニス部

8/19(土)
第15回秋季高等学校シングルス選手権
大分県予選
外山 2-6 塩月 2-6
戸高 3-6 阿南 4-6
穴井 0-6 ソーンドーズ 0-6

高い湿度と気温の中、男子と同じ会場で行われました。本戦進出は逃しましたが、公式戦初出場の部員を含め、これから自身に何が具体的に必要かを理解してもらえようような良い「きっかけ」になったと思います。次の私学大会に向け、各自の調整を行って行ってもらいたいです。最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては送迎など、お忙しい中のサポートありがとうございました。今後ともよろしくお祈いいたします。(顧問：加藤司)

私学大会結果
団体戦
岩田0-3楊志館

個人戦
女子高2シングルス
外山 1回戦1-6昭和学園
塩月 1回戦6-3東明 2回戦0-6福德学院

女子高2ダブルス
外山・塩月 1回戦2-6東明

女子高1シングルス
都甲 1回戦6-3昭和学園 2回戦0-6福德学院
白水 1回戦1-6東明
阿南 1回戦0-6昭和学園
穴井 1回戦0-6昭和学園
ソーンドーズ 1回戦0-6東明

女子高1ダブルス
阿南・穴井 1回戦0-6東明
白水・ソーンドーズ 1回戦0-6福德学院

8/29,30にレゾナックテニスコートで私学大会が行われ高1と高2が参加しました。高1の中には今回が初めての試合ということで緊張しながらコートに入っている生徒がいました。高2は最後の私学大会ということで力が入っていました。初日は炎天下、二日目は雨の中という過酷な状況でしたが、最後まであきらめずに試合に集中できていて素晴らしかったです！今回の試合で悔しい思いをした生徒も「これからもっと練習頑張ります！」と前向きな姿勢を見ることができ今後の成長が期待できます。保護者の方には、会場までの送迎や応援、差し入れを頂きありがとうございました。次も応援よろしくお祈いします！

(顧問：矢野裕美子)

7月～10月の部活動等結果報告(その3)

10/14(土)

令和5年度大分県高等学校新人テニス競技大会

1回戦 岩田 1-4 別府翔青

S1 戸高 0-6

D1 外山&塩月 0-6

S1 穴井 0-6

D2 古賀&川田 0-6

S3 阿南 相手選手棄権による不戦勝

朝から多少の雨が降り、気温もあまり上がらない中での試合でした。学園祭とその準備、学校閉鎖、中間考査…。練習時間が満足に取れない中、各々の部員が最大限のパフォーマンスを出してくれた試合となりました。試合結果としては惜しい部分もありますが、男子テニス部同様にこの試合で一応、高校2年生「引退試合」となります。引退・延長は部員の選択にはなりますが、これまでの経験を活かして、それぞれの次の一歩を踏み出して欲しいと思います。部活としては、高校1年生の新キャプテンを中心に、先輩を追い越す勢いで進んでいってほしいです。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては送迎など、お忙しい中のサポートありがとうございました。今後ともよろしくお願いたします。(顧問:加藤司)

女子サッカー部

7/23(日)

大分県女子サッカーリーグ(2部)

第3節 @湯布院スポーツセンター

岩田学園 0-0 Glanz別府FC

大分市内とは5℃違う湯布院とはいえ、こちらは1人少ない(8人制)状況ではスタミナ切れが心配されましたが、相手の平均年齢が高いこともあり、むしろ動きでは上回る展開でした。しかしゴール前でのボール捌きの技術・シュート力の不足は解決できず、こちらも無得点。少し欲も出ましたが「無事に終わった事を良しとしよう」という結果で終わりました。保護者の皆様には応援や送迎に御協力いただき、ありがとうございました。(顧問:立川英季)

高校サッカー部

8/29(火) 私学体育大会サッカー競技

@佐伯市総合運動公園陸上競技場

岩田 0-2 溝部学園

高3引退後の新チームは9人となり、練習試合はおろか紅白戦もままならぬ状況でしたが、今回は中3生の応援を得て久しぶりに11人制の試合に臨むことができました。夏休みから暑さ対策込みのチーム練習に取り組んで来ましたが、時間の経過につれて「試合経験の不足」は「ここぞという時の決定力」や「攻撃に切り替わるパサー

ク」にあらわれ、(ほぼ)相手の個人技で得点されてしまいました。休み明けの炎天下の会場で、ケガ人・体調不良者を出さずに終わったことは収穫でした。現状では参加可能な大会を探しながら活動するしかないのですが(来年度まで)、高2生を中心に課題を持って努力を継続していきたいと思っています。早朝から送迎・応援の御協力をいただいた保護者の皆様には、改めて感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。(顧問:立川英季)

10月4日(水)大分市中体連新人戦

リーグ戦 岩田 2-3 植田南

岩田 0-6 王子

練習時間や試合経験などを考えると不安な要素しか思い浮かばない中で、生徒達はよく頑張っていました。

1日に2試合というハードスケジュールの中でもみんな足を止めることなく最後まで走り続けていました。

しかし、得点するためのボールコントロールの精度や、相手の攻撃を跳ね返すパワーなどにおいて、相手

の方が少しづつ上回っていた分、勝利を手にすることが出来ませんでした。しかし、今後に期待が出来る

試合をしてくれたと思います。

平日にもかかわらず、多くの保護者の方々が応援に来て下さいました。誠にありがとうございました。(顧問:野村哲也)

中学卓球部

8/2(水)

令和5年度大分県卓球選手権カデットの部

大分市予選会

@レゾナック武道スポーツセンター

<14歳以下男子個人戦>

武藤晃 : 3回戦敗退(②3-0, ③2-3)

藤澤拓真 : 4回戦敗退(②3-0, ③3-2, ④1-3), (ベスト32)

矢野義博 : 5回戦敗退(②3-2, ③3-0, ④3-2, ⑤0-3), (ベスト16)

安部慶太 : 3回戦敗退(②3-1, ③0-3)

永松多聞 : 2回戦敗退(①3-0, ②1-3)

藤谷春希 : 2回戦敗退(①3-0, ②1-3)

山本英太郎 : 1回戦敗退(①0-3)

<14歳以下女子個人戦>

川野恵里奈 : 2回戦敗退(②0-3)

上杉咲希 : 2回戦敗退(②0-3)

<13歳以下男子個人戦>

岩尾聡一郎 : 2回戦敗退(①3-1, ②1-3)

恵良弘 : 1回戦敗退(①1-3)

安倍慶十 : 1回戦敗退(①0-3)

<13歳以下女子個人戦>

松永あんな : 4回戦敗退(②3-0, ③3-0,

④0-3, ベスト24決定戦3-0), (ベスト24)

増田凜 : 2回戦敗退(①3-0, ②1-3)

阿部カレン : 2回戦敗退(①3-0, ②0-3)

今大会は、1年生の初公式戦でした。市総体が終了してから練習が本格化し、他校との練習試合も交え積極的に活動してきました。

基礎練習を疎かにすることなく、真摯に取り組んでいた者はこの数ヶ月間で見違えるように成長し、勝利を掴むことが出来たと思います。

14歳以下はベスト32, 13歳以下はベスト24までに入った選手に県予選会の出場権が与えられますが、

本校からは、藤澤、矢野、松永3名の出場が決まりました。

次回大会に向けて、技術向上・精神力向上を目標に邁進していきたいと思っています。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては送迎等、お忙しい中のサポートありがとうございました。

今後ともよろしくお願いたします。

(顧問:草本舜輔)

9/2(土)~9/3(日)

令和5年度大分県卓球選手権カデットの部大分県予選会

@レゾナック武道スポーツセンター

9/2(土)

<男子ダブルス>

林下&安部 : 予選Aパート3位

恵良&安倍 : 予選Bパート3位

小寺&金丸 : 予選Dパート3位

藤澤&藤谷 : 予選Fパート4位

矢野&武藤 : 予選Gパート1位→トーナメント2回戦敗退(ベスト8)

永松&山本 : 予選Kパート3位

<女子ダブルス>

上杉&川野 : 予選Dパート3位

9/3(日)

<14歳以下男子シングルス>

藤澤拓真 :

3回戦敗退(①3-0, ②3-1, ③2-3)

矢野義博 :

2回戦敗退(②1-3)

<13歳以下女子シングルス>

松永あんな :

2回戦敗退(①3-0, ②0-3)

今大会は、市の予選会を勝ち抜いてきた猛者達が集う県の予選会のため、他選手の試合を見るだけでも勉強になり、部員たちにとっても良い刺激となりました。

7月～10月の部活動等結果報告(その4)

た。練習の際にペアが集まらず、ダブルスの練習がほとんど出来ないまま当日を迎える

ペアもいましたが、なんとか試合をすることが出来ました。出場ペア数がシングルスに比べると少ないものの、ベスト8になったのは快挙だと思います。

また、シングルスでは、手も足も出ないというわけではなく、要所要所で攻めることが出来ていました。

クラブチームの選手は基本的に自身よりも年下のことが多く、今までの練習量の違いは分かっているものの、悔しさを感じていました。

今大会で見つけた課題を克服するために練習を行っていききたいと思います。

保護者の皆様におかれましては早朝からの送迎や応援などのサポートありがとうございました。

今後ともよろしくお願いたします。

(顧問：草本舜輔)

10/4(水)～10/6(金) 2023年度大分市中学校新人体育大会卓球競技@サイクルショップコダマ大洲アリーナ

10/4(水) 男女団体戦

<男子団体戦>

予選Fパート2位

岩田中 W—L 植田中(オープン試合)

2S 矢野 1—3

4S 武藤 3—0

5S 安部 3—0

岩田中 0—3 賀来小中

1S 藤澤 1—3

2S 矢野 0—3

3D 林下&藤谷 2—3

決勝トーナメント1回戦敗退

岩田中 0—3 附属中

1S 藤澤 1—3

2S 矢野 0—3

3D 林下&藤谷 1—3

<女子団体戦>

予選Aパート2位

岩田中 3—0 神崎小中

1S 増田 不戦勝

2S 阿部 不戦勝

3D 川野&上杉 3—2

岩田中 0—3 大分西中

1S 松永 0—3

2S 川野 0—3

3D 阿部&増田 0—3

決勝トーナメント1回戦敗退

岩田中 0—3 植田南中

1S 阿部 0—3

2S 松永 1—3

3D 川野&上杉 0—3

10/5(木) 女子個人戦

<中2の部>

川野恵里奈：2回戦敗退

上杉咲希：1回戦敗退

<中1の部>

松永あんな：5回戦敗退(ベスト16)

阿部カレン：2回戦敗退

増田凜：2回戦敗退

内藤佳子：2回戦敗退

10/6(金) 男子個人戦

<中2の部>

武藤晃：2回戦敗退

藤澤拓真：3回戦敗退

矢野義博：3回戦敗退

林下直矢：3回戦敗退

安部慶太：2回戦敗退

永松多聞：3回戦敗退

藤谷春希：4回戦敗退(ベスト32)

平島佑真：2回戦敗退

山本英太郎：1回戦敗退

日名子雄登：2回戦敗退

<中1の部>

岩尾聡一郎：2回戦敗退

恵良弘：1回戦敗退

安倍慶十：1回戦敗退

小寺隆大：5回戦敗退(ベスト16)

団体戦は予選リーグ突破を、個人戦は1回は勝利するを目標に努力してきました。学園祭や休校期間と十分な練習が出来ないまま迎えた中体連新人戦ですが、よく健闘していました。

次回の出場予定の公式戦は、3月末となりますので、今回の悔しさをバネに練習に打ち込んで貰いたいと思います。

保護者の皆様の送迎、応援等の温かいサポートに感謝致します。

(顧問：草本舜輔)

高校卓球部

第38回大分県私立高等学校体育大会卓球競技@別府市民体育館

8月29日(火)

<女子団体戦>

0勝5敗

8月30日(水)

<男子個人戦>

宮川陽光：2回戦敗退

<女子個人戦>

山本華加：1回戦敗退

佐藤香音：1回戦敗退

渡邊鈴花：2回戦敗退

足立桔梗：2回戦敗退

永井愛乃：2回戦敗退

室ほのか：2回戦敗退

向井李華：2回戦敗退

<女子ダブルス戦>

向井・室組：1回戦敗退

足立・佐藤組：2回戦敗退

渡邊・永井組：2回戦敗退

今年から入部した生徒にとっては初めての公式戦となりました。冷房設備のない中でしたが、全員が力を出し切りました。初日の団体戦ではあと1ポイントで初勝利という惜しい試合もありました(対昭和学園：スコア2-3)。大会にはインターハイ準優勝の明豊高校も参戦し、ハイレベルな試合だけでなく、意識の高い練習風景も見ることができ、生徒にはよい刺激となったと思います。

保護者の方々の応援・サポート、ありがとうございました。(顧問：赤木栄造)

バスケット部(高校男子)

第38回大分県私立高等学校体育大会

(サイクルショップコダマ大洲アリーナ)

8/29(火) 男子1回戦 岩田 35—43 大分

惜しくも敗れはしましたが、これまでのベストゲーム!6月の高校総体予選での非常に残念な結果から、高2の3名が意識を高く持ち練習に取り組むようになりました。夏休みもたくさん卒業生達が帰ってきて、相手をしてくれたおかげでチームとしても個人としても成長できました。試合の時は、岩田生が大きな声で応援してくれて、本当に心強かったです。選手たちの頑張りや勿論ですが、いろいろな方々のサポート・支えを実感した試合でした。更なる成長を期待します。保護者の皆様のサポート、温かいご支援に感謝致します。

(顧問：野田大樹)

バスケット部(高校女子)

第38回大分県私立高等学校体育大会

(サイクルショップコダマ大洲アリーナ)

8/29(火) 女子1回戦 岩田 25—83 東明

新たなメンバーが加わり、今回は現メンバーとしての初の大会となりました。夏休みの間には、数多くの卒業生たちが部活動に訪れ、彼女たちの練習に協力してくれました。これにより、選手たちは技術的なスキルアップはもちろんのこと、チームとしての絆もより一層深まったことを実感しています。

選手たちは試合中、攻撃面での熱心な姿勢を見せました。しかしながら、ディフェンス面での課題も浮き彫りとなりました。それでも、この課題を今後の成長のためのス

学園だより

7月～10月の部活動等結果報告 (その5)

テップと捉え、練習に取り組む意欲はさらに高まっています。

この度の試合で、保護者の皆様、卒業生、そして全てのサポーターからの温かい応援を身近に感じられました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。

(顧問：牧野佳太)

第76回全国高等学校バス選手権予選

10/21 (土) 1回戦 岩田 43-71 佐伯鶴城

第1Q、全員の高い集中力とDFへの高い意識により、18-7でリードする展開。第2Qより相手のシュートが入り出し、粘りきれませんでした。プレーの質・精度をあげるには、練習と経験ということを再認識しました。11,12月とリーグ戦を経験しながらチームのレベルUPをはかります。遠い試合会場ではありましたが、保護者の方々の温かいご支援・サポートに感謝いたします。

(顧問：牧野佳太)

バスケット部 (中学女子)

中体連市新人戦

10/4(水) 1 試合目 岩田 3 3-9 5 滝尾

2 試合目 岩田 1 0-9 4 王子

行事等で夏休み明けからなかなかチームとしての練習はできなかつた中、岩田らしい超極小ディフェンスはうまくいく場面が多くありました。序盤からオールコートディフェンスに阻まれ苦戦はしましたが、強気のドリブルや相手との駆け引きをすることができていました。1日2試合のリーグ戦は初めての経験ながら、体力切れやけがもなく最後まで全員が走り続けることができました。新チーム初めての公式戦ですが、全体を通して、これからの伸びしろが随所に感じられました。保護者の方のあたたかいご支援・サポートに感謝いたします。

(顧問：酒見真由)

10/14 (土) 中学県新人戦

1回戦 岩田 28-33 杵築

直前まで中間考査があり、準備がほとんどできていない中で試合に臨みましたが、熱戦となりました。

序盤からDFを粘り強く続け、チャンスがあれば果敢にシュートに行くことができ、逆転の場面もありました。

しかし、3Qでシュートは打つも、決めきれず5点差で惜しくも敗退しました。

市新人戦から時間はあまり経っていませんが、選手たちは試合を通して、少しずつできるが増えており成長しています。今回の試合を通してさらに伸びてくれると期待したいと思います。

保護者の方々の温かいご支援・サポートに感謝いたします。(顧問：牧野佳太)

バスケット部 (中学男子)

10/4 (水) リーグ戦

1 試合目 岩田 51-21 東陽

2 試合目 岩田 18-108 植田

※1勝1敗で決勝トーナメント進出

10/5 (木)

決勝トーナメント 1回戦

岩田 14-114 附属

学園祭・休校期間となかなか練習ができず、体調不良者もあり、万全ではないチーム状況でよく頑張りました。強いチームとの試合で厳しい状況が続く、ミスを連発しましたが、少しずつ出来ることが増えました。2日間の試合を通じて、勝つ喜びを得られたこと・県トップレベルの学校と対戦できたことは、今後の練習のモチベーションになります。これからの更なる頑張りに期待したいと思います。

保護者の方々の、温かいご支援・サポートに感謝致します。(顧問：野田大樹)

10/15 (日) 中学県新人戦

1回戦 岩田 25-80 日出

身体の大きさ、強さ、キレ、スピード、テクニック、バスケの経験…、あらゆる面で相手が上でした。

DFの徹底が出来ず、ずるずると離されました。厳しすぎる時間が多い状況でしたが、積極的に仕掛ける姿勢・チャレンジが随所にみられ、最後まで諦めずに戦うことが出来ました。こういうチームはこれからももっともっと良くなります。

保護者の方々の応援&人数は相手に勝っていました！温かいご支援・サポートに感謝です。(顧問：野田大樹)

インターアクトクラブ

7月29日 (土)

第39回インターアクトクラブ年次大会

於：日本文理大学 湯布院研修所

大分・熊本合わせて20校のインターアクトクラブ (IAC) が集まり、年に一回の年次

大会が今年は湯布院にて開催されました。年次大会では各IACの一年間の活動報告があり、また今回は津軽三味線奏者の方に講話をしていただきました。岩田からは7名の役員が参加しましたが、活動報告をする4名と、他校の活動報告を記録する3名に分かれ、それぞれが一生懸命自分の役割を果たしてくれたと思います。この経験をまた今後の奉仕活動に活かしてほしいです。早朝・夕方の送迎や参加の準備など、保護者の方のご理解・ご協力に感謝いたします。(顧問：辰口裕一朗)

いけばな教室 (文化ICT委員会企画)

10/18(水)

ハロウィンアレンジメント

昔、女学校時代の岩田学園では、生け花を授業で学んでいました。

文化ICT委員会企画のいけばな教室は、「華道池坊」の先生に来ていただき、生け花を学ぼうという企画です。

さまざまなお花を飾る生け花は、日本の伝統的な芸術(飛鳥時代に始まり室町時代に今の形ができあがったと言われている)として世界中から注目を集めており、「IK EBANA」は英語としても通じるそうです。ただお花をいけるだけでなく、生け花の心や所作などもしっかり教えてくださるそうです。世界的に人気のIKEBANAですから、海外への修学旅行や留学を考えている生徒は、現地のお花を使って日本文化を紹介することもでき、その知識と経験はきっと役に立つと思います。

生け花の基本は空間をどのように演出するかということ。もともと生け花は床の間を美しく整えて客人を迎えるおもてなしの一つとしてはじまったものです。生け花の基本を学ぶことで、お客様を迎えるときに役にたつことはもちろん、自分の生活空間に生け花をつくる場面も増え、心身にとってもいい影響がでてくると思います。





宗先生が大分県高等学校野球連盟功労者表彰を受けました！

保健体育科の宗浩史先生が、令和5年7月15日に大分県高等学校野球連盟功労者表彰を受けました。

1989年の本校軟式野球部の設立に携わり、以後、廃部となる2022年度末までの34年間、責任教師及び監督として、大分県軟式野球の発展に多大なる功績を残したことがその理由です。

宗先生、おめでとうございます！



学校法人岩田学園 中高一貫校開設40周年記念式典・祝賀会を開催しました。

事務局長 末松 茂

令和5年10月8日にレンブラントホテル大分にて約120名が出席し記念式典・祝賀会を開催しました。ご招待客として保護者会役員様、同窓会役員様をはじめ日頃より学校をご支援いただいている多くの皆様方にご臨席いただきました。式典では大分県知事からのご祝辞を大分県生活環境部長高橋強様が代読され「40周年を契機として、輝かしい歴史と伝統を継承し、今後とも新しい時代や社会のニーズに答える教育を牽引する、魅力ある学校づくりを期待しています」とのお言葉をいただきました。続いて大分県私学協会理事長小山康直様より、大分の地にそれまでなかった大学進学を目的とする中高一貫校を開設した、故岩田英二前理事長の先見性と行動力を讃えていただき、共に大分県私学発展のため苦労された思い出など

をご披露いただきました。その後、本校3回生谷口功一様（東京都立大学法学部長・教授）の「岩田で学んだこと、大学人としての人生」と題した記念講演がありました。学生時代の思い出に残る恩師の影響もあり研究職を選ばれたこと、自分が教える立場や職場の責任者となりご苦労されておられること、専門である法哲学にまつわる研究内容などについてお話いただきました。また、本校勤続30年以上の教職員への永年勤続者表彰や、岩田学園同窓会樟友会会長野村威雄様による同窓会からの寄付金贈呈式もありました。なお、当日の司会進行は本校22回生賤川寛人様（OBS大分放送アナウンサー）に務めていただきました。式典の後は祝賀会となり、和やかな雰囲気うちに式典・祝賀会が終了しました。



野村 威雄 様



谷口 功一 様



賤川 寛人 様

<http://iwata.ed.jp/>

ホームページやブログでCheck！

**能力の差は小さいが
努力の差は大きい**

脚力尽くる時、山更に好し。
脚ける未来へ、全力でサポートします！



大分市岩田町1-1-1

学校法人岩田学園

電話 097(558)3007

Fax 097(556)8937

Email iwata@iwata.ed.jp

21世紀の有為な人材を育成する

岩田中学校・高等学校